

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. 地域移行支援事業の実施に当たっては、圏域ごとに最適な事業実施主体を選定し事業を実施しており、他の圏域の取組みを参考に、圏域ごとに創意工夫して事業を実施
2. 保健所職員が積極的にサポートし、不足する社会資源等をカバー

| 課題 | 課題に解決に向けた取組状況 | 取組の成果 |
|--|--|--|
| 市町内に相談支援事業所が1事業所しかない地域があるなど、地域によって社会資源が不足している地域がある。 | 愛媛県精神保健福祉士会と協力し、相談支援事業所等を対象とした精神障害関係従事者養成研修を実施する。 | 105名の方に研修を受講いただき、より多くの事業所で精神障がい者の受け入れができる体制を整えることができた。 |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築するためには、社会資源の状況等により、アプローチの方法や取り組むべき課題が異なる。 | 社会資源が充実している松山圏域をモデル圏域として、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業に取り組み、関係機関の連携強化や支援内容の充実を図る。 | 退院が困難な支援対象者が増えている中、動機付け支援に力を入れることで、支援対象者数を維持することができた。 |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (現時点)※ | 目標値 (令和元年度末) | 達成状況の見込み(評価) |
|--------------------|---------------|-----------------|--------------|
| ①支援を行った入院中の精神障がい者数 | 65 | 65 | |
| ②ピアサポーターの配置数 | 66 | 66 | |
| ③支援により退院した精神障がい者数 | 22 | 22 | |

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。